2026年（令和8年）11月12日

きたくぎかいだより

No. 309
発行/北区議会
〒114-8508
東京都北区王子本町1丁目15番22号
TEL 03(3908)9948

今回の写真は

第１回東京都北区フォトコンテスト「最優秀賞」

北区公式インスタグラム「きたいを超える 東京北区【公式】」アカウントでは、北区のおすすめ情報や季節のイベント情報を発信しています。令和７年度にフォトコンテスト「北区の好きなところ」を開催しました。236件の応募作品の中から最優秀賞に選ばれた1枚です。

◎北区公式インスタグラム
https://www.instagram.com/beyond_k_tokyokitaku/



「王子狐の行列」▶

第２回臨時会（７月16日）

○令和８年度東京都北区一般会計補正予算（第３号）を可決し、同日閉会しました

議員提出議案

○「第69号議案東京都北区立学校設置条例の一部を改正する条例」に対する付帯決議を可決しました

令和８年第２回臨時会は、７月16日に招集され、区長から提出された議案２件、議員から提出された議案１件、陳情１件を議決しました。

第３回定例会

○令和７年度各会計決算を認定しました

議員提出議案

○「中東情勢に伴う建設資材の供給不安や価格高騰等への対策強化を求める意見書」ほか２件を可決しました

令和８年第３回定例会は、９月８日に招集され、30日間の会期で10月７日に閉会しました。

９月８日、９日の２日間にわたり、11名の議員が財政・福祉・教育・まちづくりなど当面する区政の課題について代表・個人質問を行いました。

今回、区長から提出された議案等68件、議員から提出された議案３件、陳情５件を議決しました。

学校施設等火災事故対策特別委員会が設置されました

令和８年第３回定例会で、新たに特別委員会が設置されました。名称、審査事項及び委員は以下のとおりです。

●名　　称　学校施設等火災事故対策特別委員会
●審査事項　１　滝野川第三小学校の火災事故に関することについて
　　２　教育施設及びその他区有施設の防火対策について
●委　　員（定数12人）

◎坂口勝也	○永沼かつゆき	青木のぶえ	いながき浩	くまき貞一
佐藤こと	野口将人	平田りさ	福田光一	本田正則
松沢よしはる	渡辺かつひろ			

◎委員長　○副委員長

309号　目次

代表質問……2・3
結果の出た請願・陳情……3
個人質問……4
決算に対する態度……5
議決した議案等……6
可決した意見書・決議……7
議会の動き……8
次回定例会のお知らせ……8

各会派の代表質問



区民の安心と生活向上のために

安全対策と再発防止の徹底を

公明党議員団
くまき　貞一

問 **滝野川第三小学校の火災対応について、再発防止だけで終わらせず、児童がより安心して快適に学べる学校づくりに繋げる事が重要。今回の教訓を今後の学校施設の安全対策と教育環境向上にどのように生かすか見解を問う。**

答 この経験を一校だけの課題として終わらせず、安全管理体制等の在り方を不断に見直しながら、区立学校全体の安全性向上と教育環境の充実に取組み、未来を担う子ども達の命と学びを守る為、全力を尽くしていく。

問 **桐ケ丘やまぶき荘大規模改修工事の過大見積もりについて、二度と不適切な発注を繰り返さない為の、具体的なロードマップを問う。**

答 設計業務委託における履行確認等の徹底、成果品に係る課題の早期把握等に努めると共に、研修等により積算確認能力向上を図る。また、ＡＩ等を活用した支援導入も検討する。

問 **宅配ボックス導入助成事業は、環境対策や居住環境向上、防犯対策を一体的に進める施策として有効。北区における制度化を求める。**

答 現時点で助成制度を創設する考えはないが、各事業者の取組状況や区民ニーズの把握に努め、他自治体の導入効果等、研究を深めていく。

問 **小１の壁について、教員の負担を増やさず朝の居場所を確保するには、外部人材による見守り体制を整える方法が現実的である。モデル校で運用面やニーズを検証した上で、段階的に全校展開していく事を提案する。**

答 朝の居場所づくりは、外部人材を活用した場合でも教職員等の働き方改革への影響が懸念される等、解決すべき様々な課題がある。引続き、他自治体の事例も研究しつつ、検討する。

問 **区では、ひきこもりの相談窓口が一本化されていない為、利用者は分かりづらい状況である。一か所にまとめるよう求めるが、見解は。**

答 まずは既存事業の更なる広報・周知に努め、あわせて、利用者ニーズ等に寄添えるよう、他機関との役割分担を踏まえながらワンストップ相談窓口等の設置も含め、引続き検討する。



滝野川第三小学校（清水校舎）



誰もが安心して暮らせる北区へ

保育所待機児童対策について

自由民主党北区新時代の会
石川　さえだ

問 **ほくペイ事業の推進において、商店街加盟店へのインセンティブ付与等の優位性を持たせる事による中小店舗への物価高対策、また、来年の消費税減税による影響が懸念される飲食店支援策としての活用も必要と考える。**

答 地域経済を支える商店街や中小事業者の活性化に繋がるキャンペーンを検討する。飲食店についても、ほくペイの利用拡大による集客や消費喚起効果が期待できると考えている。

問 **特別養護老人ホーム桐ケ丘やまぶき荘大規模改修工事の入札予定価格の積算の一部に入力誤りが認められた。今後の公共工事において再発防止として、積算精度の向上やチェック体制の強化にどのように取組んでいくのか。**

答 研修等による職員の積算・確認能力の向上を図ると共にＡＩの活用等にも取組んでいる。今回の事案を教訓として、確認体制と業務の進め方を見直し、再発防止に取組んでいく。

問 **滝野川第三小学校における火災に関し、初動対応や学校の安全管理体制について検証する会議体を９月に設置するとの事だが、区立学校の防災性向上と再発防止について見解は。**

答 検証会議での議論等を踏まえ、学校防災マニュアルの改定等、区立学校全体の安全管理及び危機管理体制の見直しが必要と考える。

問 **避難所での妊婦や乳児の受入れ態勢として、専用施設の整備が必要。文京区は妊産婦等専用の救護所開設の災害協定を私立大学と結んでいる。区でも同様の救護所設置を求める。**

答 大学等との協定による母子救護所設置については、他自治体の取組も参考に研究する。

問 **保育所待機児童数は、１歳児は71名と著しく増加、赤羽東地区は他地域より多く地域偏在もある。今後の待機児童解消策、地域偏在の解消に向けた保育所整備の考え方を問う。**

答 １歳児の受入れ数拡大にあたり緊急的な他の歳児の受入れ枠転用のほか、保育室の余裕面積の活用を拡充する。赤羽東地区では、民間保育所の誘致を進める等、施設整備に取組む。



保育中の様子



物価高からくらしと営業を守る

安心して働き住み続けられる北区

日本共産党北区議員団
宇都宮　ゆり

問 **豊島区では区内中小業者の人材確保の課題解決を図る為、事業者への直接支援に踏み切った。北区でも賃上げを行う区内中小企業に対し支援金の支給に踏み出すよう求める。**

答 人材確保の為に賃上げを実施した区内企業に、区で実施する補助制度におけるインセンティブ付与の導入に向け、引続き検討する。

問 **低所得世帯等へのエアコン購入助成は、５月７日から９月30日が申込期間であるが、期間外の緊急対応も想定される。受付の延長、又は単年度のみではなく継続した支援を求める。**

答 今夏の気温等も踏まえ、10月30日まで延長する準備を進めている。今回の助成事業は、スピード感をもって集中的に実施する事が重要と考え、単年度の事業として位置づけている。

問 **杉並区では区営住宅の落選者へ家賃補助を実施している。北区でも、区営住宅や区営シルバーピアに入居できなかった方へ、家賃負担を軽減する、家賃補助制度の創設を求める。**

答 新たな家賃助成制度の創設には多くの課題があり、引続き「東京都北区住宅マスタープラン2026」に掲げる住宅施策を着実に推進する。

問 **滝野川第三小学校の保護者へは、９月からの授業が通常１コマ45分のところ40分に短縮すると説明があったと聞いている。この理由と児童への影響をどのように考えているか。**

答 バス通学による登下校の時間が増える為、授業１コマ40分で行う事とした。子ども達の学びに影響が生じないよう適切に対応する。

問 **王子駅前先行実施地区で計画されているツインタワーについて、「再開発等促進区」の導入はやめ、民間事業者には、現行の容積率の範囲で、王子のまちに見合った計画に変更するよう求めるべきと思うが、見解は。**

答 「再開発等促進区を定める地区計画」の制度を活用する事で、効果的なまちづくりを実現できる。事業者提案内容が基準の範囲内で、容積率の最高限度も適切と認識しており、計画容積率の見直し等を求める事は考えていない。



東十条商店街の様子

代表質問は、交渉団体会派（所属議員３名以上）の議員が行います。

各会派の代表質問



区長退職金、ＡＩ、教育・子育て

北区の未来を切り拓くために

維新・無所属議員団
安達　しんじ

問　首長退職金の制度としての廃止は可能である。改革を主導する政治家がまず自ら身を切って模範を示すべきであり、区長退職手当制度の恒久廃止を決断すべきと考えるが見解は。

答　特別職報酬等審議会の答申を受け手当の額改定に向け検討している。引続き特別区との均衡に留意し他自治体等の動向把握に努める。

問　今後のウェブサイト更新等に際して、※ＳＥＯだけでなく、※ＡＥＯの考え方も取り入れ、生成ＡＩ等が区の公式情報を正確に発見、理解、引用しやすい構成を検討すべき。

答　今後のウェブサイト更新等にあたり、ＳＥＯの視点に加え、生成ＡＩ等による情報取得の変化も踏まえながら、区民に必要な情報が正確かつ円滑に届く取組を進めていく。

問　区の小・中学校での取組等が分かりやすく案内されていない。私立中学校の受験率が向上しており、子どもの受験前に区の教育を認知してもらう為の案内が必要ではないか。

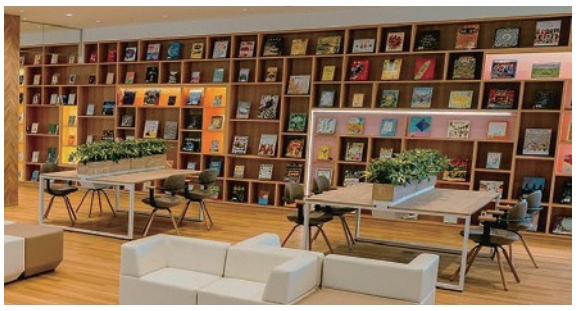
答　デジタル化した教育広報誌等の活用のほか、メディアでの発信等、区の教育の特色や魅力のより積極的な発信に努めている。引続き様々な場面で区の教育の先進性等を発信する。

問　朝、小学校の前で校門が開くのを待つ子どもへの対応が課題となる中、板橋区では小学生の朝の居場所事業が始まった。区でも朝の子どもの居場所対策を進めるべきではないか。

答　早朝に学校施設を開放した際の児童の安全確保や施設管理上の問題、教職員等の働き方改革への影響等、解決すべき様々な課題がある。他自治体の事例も研究し、検討していく。

問　若者からの政策ニーズをヒアリングしたところ、自習できる空間を増やしてほしいとの声があった。区では自習スペースをより整備していく事についてどのように考えているか。

答　子ども向け自習スペースの確保を進めたいと考えており、令和９年４月から全児童館が子どもセンター等へ移行する際、学習スペースを設置し、自習室環境の整備を進める。



ジェイトエル内のラウンジ



北区の中長期の財政運営を問う

防災・災害対策について

自由民主党議員団
大沢　たかし

問　北とぴあ改修や新庁舎整備等が同時期に進む中、今後の金利や建設コスト上昇リスクを踏まえた中長期の財政運営について、見解は。

答　事業の効果等を検証し、真に必要な施策に財源を配分する。投資と財政規律の両立を図り、健全で持続可能な財政運営を堅持する。

問　北とぴあのリ･デザインプランについて､建設コスト上昇が続き､また､今後20年程度の活用という中で､優先順位を明確化し､改修内容の選択と集中を行うべきと考えるが、見解は。

答　最適な手法による工事費の適正を図りつつ安心・安全な施設の維持保全に取組んでいる。引続き工事費抑制を含め内容精査に努める。

問　赤羽小学校等の公共施設更新、再編の将来像は一定時期までに方向性を示すべきと考えるが、策定中の赤羽駅東口地区まちづくりガイドラインの検討状況も含め見解を問う。

答　施設更新等の方針は庁内で慎重に検討している。先行して検討している基盤・土地利用部会の議論も見ながら、できるだけ早期に施設整備部会を開催できるよう検討を進める。

問　今後、地域防災計画の改定時に真夏の災害を前提とした被害想定等を明確に位置づけるべきと考えるが見解は。また､今回の千葉豪雨から､都市型水害等への備え等について､どのような教訓を得て防災対策に反映する考えか。

答　夏季に発生し様々な課題が生じた熊本地震等に関する国等の動向を踏まえ、防災対策の充実に取組む。また、今回の豪雨の教訓を踏まえ、国や被災自治体の報告等も参考にしながら、都市型水害への対応力の向上に取組む。

問　教育長が述べた「これからの教育は学校だけで完結できない」中にあって、任期の後半戦をどのように教育課題にコミットするのか。

答　前半は次世代の学校に向けた仕組み等を作る期間。後半はそれを教育先進都市･北区の学校現場の文化として根付かせる期間としたい。その為に組織を変える教育長へ進化し、引続き教育課題に真正面からコミットし取組む。



北とぴあの外観

結果の出た請願・陳情

第　2　回　臨　時　会		
番　号	件　　名	結　果
陳情８第６号	赤羽駅東口周辺並びに王子駅周辺まちづくりに関する住民の意見反映と参画を求める件	不採択

第　3　回　定　例　会		
番　号	件　　名	結　果
陳情８第８号	中東情勢に伴う建設資材の供給不安や価格高騰等への対策強化を求める意見書提出に関する件	意見付採択
陳情８第９号	特別養護老人ホーム桐ケ丘やまぶき荘改修工事の検証に関する件	不採択
陳情８第11号	桐ケ丘体育館の改善に関する件（第１項）	不採択
陳情８第13号	北区の地域課題解決のための「飼い主のいないネコ」対策に関する件	意見付採択
陳情８第15号	平和祈念週間における「原爆と人間展」パネル展の不備を正し、再度の展示を求める件	不採択

意見付採択：「趣旨に沿うよう努力すること」との意見が付されました

不採択の理由は、いずれも願意に沿い難いため

名前の横にある二次元コードを読み取ることで、質問の様子を映像で閲覧することができます。

※は４ページに解説を掲載しています。

個人質問



安心・安全の地域へ 弛まぬ小さな積み重ねを

公明党議員団
佐藤　かずゆき

問 **集合住宅における在宅避難を進め易くする上でも「東京とどまるマンション」への登録を進めるべき。制度の周知を進める取組を問う。**

答 多様な媒体による周知、区内関係機関との連携やマンション管理セミナー等で周知を行っている。今後も都と連携し周知等に取組む。

問 **今後、「北区版コミュニティ・スクール」を更に拡充していくにあたり、教育委員会としてはどのようなビジョンを持っているのか。**

答 導入校数を増やす事自体が目的ではなく、地域と学校の協働が実質的に機能し、将来的には教育課題や地域課題の解決に学校と地域が共に協力していく事が重要と考えている。

問 **若者支援・活躍応援事業で多くの若者の声を集める為に平日以外での開催やオンラインでのミーティングの開催も検討してはどうか。**

答 これまでもオンライントークを実施しているが、頂いたご意見も参考に、より多くの若者が参加しやすい開催方法を引続き検討する。

問 **秋の交通安全運動期間に合わせ、自転車の運転ルールや生活道路の制限速度が30キロに変更となった事の周知・啓発を求める。**

答 秋の運動では自転車交通ルールの理解・遵守の徹底を重点項目とし、生活道路での自動車法定速度引下げも一層の周知を図る予定。



若者がいきいき暮らせる北区を 緑のインフラと防災まちづくり

日本共産党北区議員団
山崎　たい子

問 **北区若者ｍｅｅｔｉｎｇを開催した区の感想、振り返りについて問う。今後、寄せられた声を区政にどう活かそうと考えているか。**

答 若者が行政をより身近に感じられる関係づくりが重要と認識した。寄せられた意見等は庁内で共有し連携を図り、若者が地域や区政に参画しやすい環境づくりに繋げていく。

問 **若者の余暇の権利を考える際、自由に出入りできるユースセンター的な第３の居場所が必要。若者と共に創出・検討するよう求める。**

答 当事者である若者の声を丁寧に伺いながら、若者が気軽に集い、交流や活動ができる環境の在り方について、引続き検討していく。

問 **経営側の主体的な雇用環境の改善を図る為の支援や従業員の賃金引上げへの直接支援等、インセンティブ補助金を実施するよう求める。**

答 賃上げに取組む中小企業への支援について、区が実施する各種補助制度におけるインセンティブ付与の在り方も含め、引続き検討する。

問 **王子駅周辺まちづくりは、住民要望に応え、王子・豊島・堀船をはじめ低地部全体を支える広域防災拠点として機能するよう求める。**

答 防災拠点となる新庁舎と繋がりのある建物群を形成、命を守る高台をつくる事を基本方針に地域住民等の安全・安心を確保する。



バリアフリーを推進しよう バリアのない北区へ

維新・無所属議員団
さいとう　尚哉

問 **手話施策のパイオニアであり続ける為、区としてどのように手話施策を強化していくか。**

答 障害特性に応じた意思疎通手段の利用機会拡充に向け、国や都の補助金等も活用しながら、ＤＸ推進等、視野を広げた施策展開を図る。

問 **点字ブロックを利用する視覚障害者と通行人の衝突事故や点字ブロックに障害物が放置される事案等にどのように対応していくか。**

答 視覚障害の方への理解醸成の為、北区バリアフリー構想改定にあたり議論を進めている。

問 **区有施設のバリアフリーの推進について、寄せられた区民意見やまちあるき点検等による知見を庁内横断で共有し、今後の施設整備へ反映するうえで、どのような課題があるか。**

答 バリアフリー基本構想推進協議会で関係部署との情報共有を図っている。更に協議会の区民部会と意見交換を行い、意見要望等を施設整備に反映できる仕組を作り、対策を図っており、大きな課題があると認識していない。

問 **まちあるき点検に限定せず、バリアフリーを必要とする区民が日常的に意見提供できる仕組の整備するよう提言するが見解は。**

答 日常的には区長へのはがき等があり、施設整備時にはワークショップ等で意見聴取の機会を設けている。引続き丁寧な対応に努める。



命と権利を守る防災や若者支援 水害対策・ユースクリニック等

維新・無所属議員団
佐藤　こと

問 **ハザードマップの在り方について、都の最新データを反映し、内水氾濫に特化した全面改訂と共に、統合整備を進めるべきと考える。**

答 新たな雨水出水ハザードマップの作成・公表を予定している。統合整備については、既に北区防災アプリ等があり周知に努めていく。

問 **私立学校や民間事業者等の高台施設に対し、水害時の一時避難場所としての協定締結を働きかけ、避難所ネットワークを構築すべき。**

答 国立施設等との協定に加え、民間事業者等の高台施設について、施設管理者の理解と協力を得ながら避難場所確保の取組を推進する。

問 **地域防災計画の改定等において、どのようなプロセスで障害当事者・関係団体の意見を聴取・反映しているか。また、防災会議等への参画を更に促進するべきと考えるが見解は。**

答 障害者団体等との意見交換を行い、当事者の視点を踏まえた内容を反映した。防災会議には北区障害者団体連合会から委員に参画頂いている。今後も様々な機会で意見を伺う。

問 **ユースクリニック等の誘致・育成・支援を求める。併せて、公的相談窓口等とも連携し悩みを抱えるユース世代を繋ぐ仕組を構築すべき。**

答 相談内容に応じて、切れ目のない支援体制構築が図れるよう円滑な連携の確保を図る。



暮しやすく安全なまち、北区を 子ども性暴力防止法・災害備蓄

無会派（立憲民主党所属）
赤江　なつ

問 **更年期障害について男女双方への啓発、男性も利用しやすい相談窓口の整備・周知、区内事業者向け職場環境整備支援、区役所が働き続けられる職場のモデルとなる事を要望する。**

答 男性も利用しやすい健康相談事業となるよう努め、事業者の支援も引続き行う。区職員の健康と活躍を支える職場づくりを推進する。

問 **こども性暴力防止法の施行により、児童への性暴力等を防止する為の体制整備が義務づけられる区内施設の範囲と数は。学童クラブやわくわくひろばは義務対象か、認定対象か。**

答 小中学校43校、義務教育学校１校、保育園42園、児童館20館等が義務対象施設。学童クラブを含むわくわくひろばは認定対象となる。

問 **備蓄物資について、区及び個人で用意する備蓄の担うべき範囲や具体的な数量的目安を分かりやすく示し、各家庭の備蓄を促すべき。**

答 区の備蓄物資一覧は北区公式ウェブサイトに掲載し、最低でも３日分の備蓄をお願いしている。自助の啓発や情報発信を引続き行う。

問 **災害時の暴力について北区ニュースや自主防災組織等で積極的に扱い、暴力を許さない環境づくりを平時からしていく事を要望する。**

答 避難所開設訓練や防災に関する講座等、様々な機会を捉えて、理解促進に努めていく。



特養積算222ヵ所の記載ミス 検証データは区民に非公開

無会派（いのちの党所属）
佐藤　つかさ

問 **特別養護老人ホーム桐ケ丘やまぶき荘大規模改修工事における新聞報道に係る検証結果について、消火器ボックス１個145万円は、４万円の誤記で、改めて積算内容を検証し、必要な修正を行った結果、過大に積算したものもあれば、過少に積算したものもあり、修正後の予定価格は契約金額を上回るもので問題ない、との回答であった。建築工事の内訳222ヵ所に誤記があるとは常識的に考えられない。検証した過大過少積算のデータは非公開となっているが、契約内容に影響を及ぼさないのであれば、修正したデータを公開して頂きたい。また、工事内容に疑問があり、第三者機関による審査が必要である。区の見解は。**

答 区として、改修工事の積算全体を改めて検証し必要な修正を行った結果、修正後の予定価格は契約金額を上回る事等から、契約金額に影響を及ぼすものではないと判断している。検証データは、現在、情報公開請求に対する非開示決定に審査請求が提起されており、関係法令等に基づく手続が進められている時点において、当該資料の公表は考えていない。なお、今回の工事について既に区において設計内容及び積算全般の検証を行っている事から、改めて第三者機関による審査を行う考えはない。



代表質問の用語解説

▶３ページ

※ＳＥＯ
検索エンジン最適化を意味し、検索サイトのランキングで上位表示を目指す取組のこと。

※ＡＥＯ
回答エンジン最適化を意味し、ＡＩ検索の回答に自らのコンテンツを選ばせる最適化手法のこと。

名前の横にある二次元コードを読み取ることで、質問の様子を映像で閲覧することができます。

令和７年度各会計決算を認定しました

令和８年第３回定例会において、令和７年度決算を審査する特別委員会を設置し、各会派等が決算に対する態度を表明しました。ここでは、その要旨をお伝えします。

公明党議員団

一般会計決算及び３特別会計決算の認定にいずれも賛成

令和７年度は物価高騰が続き、区民や地域の事業者にも厳しい影響が及んだ中、区民生活支援金の給付や子育て世帯への支援、福祉事業所や医療機関への支援、プレミアム付デジタル商品券の追加発行等、暮らしと地域経済を支える取組を進めた事を評価する。また、いじめや不登校への支援を強め、若年がん患者の在宅療養支援も始まった。防災士の資格取得助成も、地域の防災力を高める一歩であり、制度をつくるだけでなく、必要としている方に届き、安心に繋がる事を期待する。一方で、決算で大切なのは区民の暮らしがどう変わったのかを確かめる事である。今回、我が会派からは、物価高騰対策の成果、子育てや福祉の相談支援、防災等について質疑を重ねた。中でも、土のうの貸出しや止水板の設置助成、コミュニティソーシャルワーカーによる相談支援や家具の転倒防止等、利用実態を踏まえ、支援の届け方を工夫して頂きたい。子ども達の安全についても、滝野川第三小学校の火災を踏まえ、避難器具の扱いを含む実践的な訓練を進めてほしい。更に、コミュニティバスの新規路線についても迅速に進めて頂くよう求める。また、決算書の訂正について、監査委員の審査意見書が再提出に至った事を重く受け止めている。正確な決算資料は、区民と議会の信頼の土台であり、再発防止を着実に進める事を求める。今回の決算で確認できた成果を次に繋げ、課題には、現場の声を聴きながら改善を重ねて頂きたい。

自由民主党北区新時代の会

一般会計決算及び３特別会計決算の認定にいずれも賛成

令和７年度は、限られた資源を様々な施策に効果的かつ効率的に配分し区民に豊かさが広がる区政を目指した積極的な予算編成を行い、山積する課題の解決に取組むと共に様々な分野の垣根や役割を超えた横断的な取組を進め、相乗効果を生み出すような施策の展開を図る等、区政を力強く推し進めている事を評価する。また、税収増分を７つの主要政策を中心に新規事業の構築等に積極的に振り向けて推進を図り、物価高騰が続く中において、地方創生臨時交付金を最大限活用し、生活支援金として区独自に上乗せをした区民への現金給付をはじめ、介護や福祉、子育て施設等への支援等、我が会派が要望してきた物価高対策を適切に講じてきた。今後は、これまで以上に不断の改革と持続可能な行財政運営が必要であり、限られた財源と人的資源を最大限活用し、徹底した既存事業の見直しや、柔軟な組織運営等に引続き積極的に取組む事を改めて求める。また、「ともにつくる　だれもが住みよい　彩り豊かな躍動するまち　北区」の実現に向け、７つの主要政策をはじめとした計画事業の推進の他、多様化する区民ニーズへの的確な対応と暮らしや地域経済を下支えする施策の迅速な実施を求める。

日本共産党北区議員団

一般会計決算の認定に反対、３特別会計決算の認定にいずれも賛成

令和７年度の予算執行において、全区民に対する区民生活支援金や子育て応援手当の支給､省エネエアコン助成､産後ケアアウトリーチ事業の実施、区独自の奨学金返済支援給付事業の準備、不登校支援拡充等は住民要望の反映として評価する。しかし、以下の理由から一般会計に反対する。第一に、区民の暮らしが物価高騰や長期金利の上昇等の影響により厳しい実態にある下で、潤沢な財政力があったにもかかわらず、区民の暮らしや中小事業者の営業への支援が不十分にとどまった事。積み上がった財政調整基金は暮らし・営業の支援に最優先で活用すべき。第二に、貧困と格差を広げる「行財政改革」を政策の第一に掲げ、職員削減、外部化、受益者負担を基軸とする新自由主義の行革路線に固執する姿勢。第三に、駅前にタワーマンションを呼び込む市街地再開発計画等、公民連携による大型開発中心のまちづくりを推し進める姿勢。

区民のミカタ(立憲･都ファ･国民)

一般会計決算及び３特別会計決算の認定にいずれも賛成

限られた財源を活用し物価高騰対策を始め区民福祉や区民サービス向上に向けた新規事業実施や既存事業充実に取組んだ。一方で区民生活を取巻く課題は複雑・多様化し分野を跨ぐ支援の重要性は高まっている。以下要望する。監査後の決算値修正や３年続いて指摘された物品管理について二度と起きないよう万全を期して取組む事。赤羽警察署跡地を緑溢れるオープンスペースとして整備。急激な気候変動下でも区民の安全安心を守る事。福祉・住宅・環境等の関係部署等が連携した居住支援強化。養育費確保、学習支援、相談体制充実等、ひとり親家庭等への支援拡充。子どもの人権教育充実、教員の働き方改革推進。

維新･無所属議員団

一般会計決算及び３特別会計決算の認定にいずれも賛成

令和７年度決算を、競争優位性の確立という視点で審議した。行政手続の電子申請化、公民連携研修等は、北区が飛躍する為の種まきであると評価する。一方、障害福祉分野や区施設のバリアフリー徹底の為の庁内横断の体制整備等に憂慮すべきところがある。以下要望する。選ばれる北区を実現する為、競争優位性を確立するまでやりきる区政。縦割にとらわれることなく庁内横断の連携の深化。アウトカムにつながらない事業のスクラップ・アンド・ビルド。そうして捻出された財源で、行政の支援を真に必要としている区民への支援拡充。ミスをなくす業務プロセス設計を徹底し区民の区政への信頼を維持すること。

自由民主党議員団

一般会計決算及び３特別会計決算の認定にいずれも賛成

過去３回の代表質問にてクラシック音楽での不協和音、変革の年、子どもの権利に関わる歴史観等のキーワードで先人達と共に創り上げた北区議会自由民主党議員団の考え方を示してきた。令和７年度決算はそれらの考えと共有する部分もあり、区民福祉向上の為に継続性のある施策展開と評価する。今後幅広い区民ニーズ実現の為の区政運営を切に願う。

無会派(立憲民主党所属)※1

一般会計決算及び３特別会計決算の認定にいずれも賛成

区民と事業者に寄添い必要な支援を届けた事を評価し以下要望する。王子駅周辺まちづくりの先行実施地区について100年先を見据えたまちづくり。避難場所等周知し区民がためらわず避難できる環境整備。不登校に関するアンケート実施。若者自殺対策関係部署連携、若者向けゲートキーパー養成講座開催。教職員の人権研修充実。介護者支援策充実。

無会派(立憲民主党所属)※2

一般会計決算及び３特別会計決算の認定にいずれも賛成

暮らしを支え子育て家庭が支援を受けやすくする取組を評価する。一方、認定の賛成は執行上の問題を全て是認するものではない。以下要望する。業務量や人員配置等の見直し。増員、人材育成を投資として進める事。積極的な情報公開で区政の透明性、説明責任を果たす事。給付事業は基本的に現金給付とする事。医療・介護の負担軽減と相談支援の充実。

決算書等の訂正について

令和７年度東京都北区一般会計歳入歳出決算について、決算書等の内容の一部に誤りがあり、９月30日の本会議で訂正の議決がされました。

決算特別委員会委員（定数19人）

◎小田切かずのぶ　○石川さえだ

青木のぶえ	赤江　なつ	安達しんじ
いながき浩	うすい愛子	宇都宮ゆり
金田よしあき	さいとう尚哉	坂場まさたけ
佐藤かずゆき	すどうあきお	野口　将人
平田　りさ	宮島　修	山崎たい子
山中りえ子	渡辺かつひろ	

◎委員長　○副委員長

※１　赤江委員　※２　うすい委員

議決した議案等

会派名等と議員数

公：公明党議員団（10）　新：自由民主党北区新時代の会（７）　共：日本共産党北区議員団（６）　ミ：区民のミカタ（立憲・都ファ・国民）(４)
維：維新・無所属議員団（４）　自：自由民主党議員団（３）　無（立・あ）：無会派（立憲民主党所属）赤江議員（１）
無（社）：無会派（新社会党所属）(１)　無（れ）：無会派（れいわ新選組所属）／無（い）：無会派（いのちの党所属）(１)
無（立・う）：無会派（立憲民主党所属）うすい議員（１）

令和８年第２回臨時会

区長提出議案		公	新	共	ミ	維	自	無(立・あ)	無（社）	無（れ）	無(立・う)	議決結果
議　案　名	概　　要											
東京都北区立学校設置条例の一部を改正する条例	東京都北区立滝野川第三小学校の位置を変更する	○	○	▲	○	○	○	○	○	○	▲	可決
令和８年度東京都北区一般会計補正予算（第３号）	歳入歳出予算：５億4,715万6,000円の増　債務負担行為：１件の追加	○	○	▲	○	○	○	○	○	○	▲	可決
議員提出議案		公	新	共	ミ	維	自	無(立・あ)	無（社）	無（れ）	無(立・う)	議決結果
議　案　名	概　　要											
「第69号議案東京都北区立学校設置条例の一部を改正する条例」に対する付帯決議	決議の内容については、７ページの「可決した意見書・決議」をご覧ください。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

令和８年第３回定例会

区長提出議案等		公	新	共	ミ	維	自	無(立・あ)	無（社）	無（い）	無(立・う)	議決結果
議　案　名	概　　要											
令和７年度東京都北区一般会計歳入歳出決算の認定について	歳入決算額：2,019億9,641万9,057円 歳出決算額：1,926億554万9,382円	○	○※	×	○	○	○	○	×	○	○	認定
令和７年度東京都北区国民健康保険事業会計歳入歳出決算の認定について	歳入決算額：355億1,180万9,081円 歳出決算額：343億1,139万5,819円	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
令和７年度東京都北区介護保険会計歳入歳出決算の認定について	歳入決算額：358億6,555万2,455円 歳出決算額：341億8,481万7,993円	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
令和７年度東京都北区後期高齢者医療会計歳入歳出決算の認定について	歳入決算額：109億5,303万525円 歳出決算額：106億5,825万552円	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
東京都北区若者ミライ応援基金条例	東京都北区若者ミライ応援基金を設置する	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区住宅宿泊事業の適正な運営の確保に関する条例	住宅宿泊事業の適正な運営の確保について、必要な事項を定めることにより、宿泊者の安全かつ安心な宿泊環境及び区民の安全で良好な生活環境を確保するとともに、適正な住宅宿泊事業を促進し、もって良好な地域社会の維持及び形成に資する	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区旅館業法施行条例の一部を改正する条例	周辺地域の住民等に対する旅館業を営む旨等の周知に係る規定を改めるほか、旅館業の施設に係る構造設備の基準を改める	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例	学校医等の公務災害補償に係る介護補償額及び葬祭補償額の改定を行う	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区立学校設置条例の一部を改正する条例	東京都北区立滝野川第五小学校の位置を変更する	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区立学校設備等使用条例の一部を改正する条例	現に東京都北区立学校の用に供されていない設備の使用に係る規定を設ける	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区立体育施設条例の一部を改正する条例	東京都北区立パノラマプール十条台を廃止する	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区印鑑条例の一部を改正する条例	印鑑登録の申請に係る保証人の保証書による本人確認について、当該保証人の範囲を拡大するほか、電子情報処理組織を使用する方法による印鑑登録の廃止の申請及び印鑑登録証明書の交付の申請に係る規定を設ける	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、児童対象性暴力等の防止に係る規定を設けるほか、所要の改正を行う	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、児童対象性暴力等の防止に係る規定を設ける	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部改正に伴い、満三歳以上限定小規模保育事業者に係る規定を設けるほか、規定の整備を行う	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区立児童館条例の一部を改正する条例	東京都北区立児童館の名称を変更する	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区放課後子ども総合プランの運営に関する条例の一部を改正する条例	学童クラブを利用できる者の範囲を拡大する	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区景観づくり条例の一部を改正する条例	景観法の一部改正に伴い、規定の整備を行う	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区高齢者住宅条例の一部を改正する条例	シルバーピア秀華、シルバーピア寿及びシルバーピア天心館を廃止する	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
フリーアドレス導入に伴う什器備品等の購入契約	契約相手：株式会社ノエス　契約金額：3,776万9,600円	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
災害用備蓄食料の購入契約	契約相手：有限会社カタヒラシステム　契約金額：6,727万9,820円	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
特別養護老人ホーム桐ケ丘やまぶき荘大規模改修工事に伴う介護浴槽外の購入契約	契約相手：株式会社ウィズケアメディカル　契約金額：5,169万9,560円	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
特別養護老人ホーム桐ケ丘やまぶき荘大規模改修工事に伴う厨房機器の購入契約	契約相手：株式会社マタノ　契約金額：5,962万円	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
王子北保育園工事に伴う調理備品の購入契約	契約相手：タニコー株式会社　城北営業所　契約金額：1,232万円	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
滝野川小学校外九校厨房機器の購入契約	契約相手：新日本厨機株式会社　契約金額：5,958万7,000円	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
仮称桐ケ丘区民センター新築工事請負契約	契約相手：本不二・北澤建設共同企業体 契約金額：20億1,190万円	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
（仮称）北区立堀船中学校等複合施設新築グラウンド整備工事請負契約	契約相手：三和建設株式会社　契約金額：４億249万円	○	○※	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
王子北保育園新築機械設備工事請負契約の一部を変更する契約	契約金額の変更：１億8,359万円	○	○※	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
なでしこ小学校別棟校舎増築工事請負契約の一部を変更する契約	契約金額の変更：11億8,768万1,000円	○	○※	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
赤羽台西小学校新築工事請負契約の一部を変更する契約	契約金額の変更：64億2,755万3,000円	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区赤羽会館の指定管理者の指定について	指定管理者の名称：赤羽会館マネジメントグループ	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区滝野川会館の指定管理者の指定について	指定管理者の名称：株式会社旺栄	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区立赤羽ふれあい館の指定管理者の指定について	指定管理者の名称：赤羽ふれあい館自主管理運営委員会	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区立桐ケ丘ふれあい館の指定管理者の指定について	指定管理者の名称：桐ケ丘ふれあい館自主管理運営委員会	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区立島下ふれあい館の指定管理者の指定について	指定管理者の名称：島下ふれあい館自主管理委員会	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区立稲付ふれあい館の指定管理者の指定について	指定管理者の名称：稲付ふれあい館自主管理運営会	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区立西が丘ふれあい館の指定管理者の指定について	指定管理者の名称：西が丘ふれあい館自主管理委員会	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区立東田端ふれあい館の指定管理者の指定について	指定管理者の名称：東田端ふれあい館自主管理運営委員会	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区立新町コミュニティアリーナの指定管理者の指定について	指定管理者の名称：新町コミュニティアリーナ自主管理運営委員会	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区ＮＰＯ・ボランティアぷらざの指定管理者の指定について	指定管理者の名称：特定非営利活動法人東京都北区市民活動推進機構	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区立元気ぷらざの指定管理者の指定について	指定管理者の名称：ＦＨ元気パートナーズ	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区志茂老人いこいの家の指定管理者の指定について	指定管理者の名称：ＦＨ元気パートナーズ	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
オリンピック東京大会記念東京都北区桐ヶ丘体育館等の指定管理者の指定について	指定管理者の名称：北区スポーツみらい創造パートナーズ	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区立堀船温水プールの指定管理者の指定について	指定管理者の名称：株式会社フクシ・エンタープライズ	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区立堀船ふれあい館の指定管理者の指定について	指定管理者の名称：株式会社フクシ・エンタープライズ	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区立王子プール等の指定管理者の指定について	指定管理者の名称：株式会社フクシ・エンタープライズ	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区立北運動場等の指定管理者の指定について	指定管理者の名称：北区スポーツサポーターズ	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区立パノラマプール十条台の指定管理者の指定について	指定管理者の名称：株式会社フクシ・エンタープライズ	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区立浮間ハイマートの指定管理者の指定について	指定管理者の名称：社会福祉法人東京都福祉事業協会	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区立王子授産場等の指定管理者の指定について	指定管理者の名称：公益社団法人北区シルバー人材センター	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区立若葉福祉園の指定管理者の指定について	指定管理者の名称：社会福祉法人　東京都手をつなぐ育成会	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
（仮称）東京都北区立赤羽子どもセンターの指定管理者の指定について	指定管理者の名称：株式会社マミー・インターナショナル	○	○※	×	○	○	○	×	×	○	○	可決
（仮称）東京都北区立滝野川東子ども・ティーンズセンターの指定管理者の指定について	指定管理者の名称：株式会社日本デイケアセンター	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
（仮称）東京都北区立豊島東子ども・ティーンズセンターの指定管理者の指定について	指定管理者の名称：株式会社マミー・インターナショナル	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

無会派（れいわ新選組所属）佐藤つかさ議員は、令和８年８月18日付で
無会派（いのちの党所属）となりました。

区長提出議案等		公	新	共	ミ	維	自	無（立・あ）	無（社）	無（い）	無（立・う）	議決結果
議案名	概要											
（仮称）東京都北区立袋子ども・ティーンズセンターの指定管理者の指定について	指定管理者の名称：労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区立桐ケ丘保育園の指定管理者の指定について	指定管理者の名称：社会福祉法人みわの会	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区立滝野川北保育園の指定管理者の指定について	指定管理者の名称：社会福祉法人ＴＳＵＢＯＭＩ　ＥＤＵＣＡＴＩＯＮＳ	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区立滝野川西保育園の指定管理者の指定について	指定管理者の名称：社会福祉法人聖華	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区立東田端保育園の指定管理者の指定について	指定管理者の名称：社会福祉法人ＴＳＵＢＯＭＩ　ＥＤＵＣＡＴＩＯＮＳ	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和８年度東京都北区一般会計補正予算（第４号）	歳入歳出予算：29億7,900万4,000円の増　繰越明許費：２件 債務負担行為：39件の追加、２件の変更	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和８年度東京都北区国民健康保険事業会計補正予算（第１号）	歳入歳出予算：6,111万2,000円の増	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和８年度東京都北区介護保険会計補正予算（第１号）	歳入歳出予算：17億6,739万9,000円の増	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和８年度東京都北区後期高齢者医療会計補正予算（第１号）	歳入歳出予算：３億2,457万円の増	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
仮称桐ケ丘区民センター新築電気設備工事請負契約	契約相手：恒栄電設株式会社　契約金額：３億8,434万円	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
仮称桐ケ丘区民センター新築機械設備工事請負契約	契約相手：創和エンジニアリング株式会社　契約金額：３億9,160万円	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
旧田端中学校改修機械設備工事請負契約	契約相手：株式会社石井設備工業　契約金額：２億6,895万円	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
仮称芥川龍之介記念館新築工事請負契約の一部を変更する契約	契約金額の変更：４億1,643万8,000円	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
都の北学園新築工事（２期）請負契約の一部を変更する契約	契約金額の変更：９億4,934万4,000円	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案		公	新	共	ミ	維	自	無（立・あ）	無（社）	無（い）	無（立・う）	議決結果
議案名	概要											
中東情勢に伴う建設資材の供給不安や価格高騰等への対策強化を求める意見書	意見書の内容については、本ページの「可決した意見書・決議」をご覧ください。	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
すべてのケアラーに対する包括的な支援の強化を求める意見書	意見書の内容については、本ページの「可決した意見書・決議」をご覧ください。	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
佐藤つかさ議員に対する問責決議	決議の内容については、本ページの「可決した意見書・決議」をご覧ください。	○	○※	○	○	○	○	○	○	除斥	※	可決

議長は表決に加わりません。

○：賛成　×：反対　▲：退場　※１名欠席

可決した意見書・決議

●令和８年第２回臨時会

○「第69号議案東京都北区立学校設置条例の一部を改正する条例」に対する付帯決議

本件の設置条例改正に関わる滝野川第三小学校移転について、児童の学校生活を最大限に配慮するように努めること。

●令和８年第３回定例会

○中東情勢に伴う建設資材の供給不安や価格高騰等への対策強化を求める意見書

中東情勢の緊迫化を背景に、原油及びナフサを原料とする建設資材等について、価格高騰や供給不安が生じている。塗料、シンナー、防水材、断熱材、塩化ビニル製品、屋根材など多くの資材で、価格改定や受注制限、納期遅延などが発生し、地域の建設事業者の経営に影響を及ぼしている。

東京都内においては、住宅建設、住宅改修及び公共施設の整備などが継続的に行われており、建設資材の価格高騰や調達環境の変化は、事業者の経営のみならず、工事の円滑な実施への影響も懸念されている。

このような状況の下、建設業は、地域の社会基盤を支えるとともに、災害時における応急復旧や防災・減災対策においても重要な役割を果たしていることから、その事業環境の安定を図ることが重要である。

よって、本区議会は、政府及び東京都に対し、中東情勢に伴う建設資材等の価格高騰及び供給動向の実態を的確に把握するとともに、建設事業者に対する緊急の経営支援、原材料及び建設資材の安定供給の確保並びに価格高騰対策について、必要な措置を速やかに講じることを求める。

○すべてのケアラーに対する包括的な支援の強化を求める意見書

近年、家族等の介護や日常生活上の世話を担う「ケアラー」への支援が重要な社会問題となっている。ケアラーが抱える負担は、身体的・精神的なものにとどまらず、孤立や、経済的な困難、学業、進学、就労など、その後の生活や人生にも大きな影響を及ぼすことがある。とりわけヤングケアラーについては、令和６年の法改正により、国や地方公共団体等が支援に努めるべき対象として法律上明確化されるなど、支援は着実に前進している。

一方で、働きながら介護を担うビジネスケアラー(ワーキングケアラー)、育児と介護を同時に担うダブルケアラー、高齢の家族を支えるケアラーなど、家族のケアを担う人は世代を問わず存在している。ケアを必要とする人への支援を充実するとともに、ケアラー本人の生活、健康、学び、就労及び社会参加を守るため、年齢や置かれた状況によって支援が途切れることのない、包括的な支援体制を構築する必要がある。

よって、本区議会は政府に対し、すべてのケアラーが過度な負担や孤立を抱えることなく、自らの希望する生活を送ることができるよう、下記の事項について速やかに取り組むよう強く求める。

１、ヤングケアラーに限らず、すべてのケアラーを包括的に支援する基本理念を明確にし、必要な法整備を含めた支援体制を構築すること。

２、関係分野が連携し、ケアラーを支援するための実態把握、相談支援、ケア負担の軽減、休息の確保、学業・就労継続への支援、仕事と介護を両立できる環境整備を推進すること。

３、ケアラー本人と、ケアを必要とする家族を一体的に捉え、家庭全体への切れ目のない支援を推進すること。

４、地方公共団体が継続的に支援を実施できるよう必要な財政措置を講じ、ケアラー支援への社会的理解を促進すること。

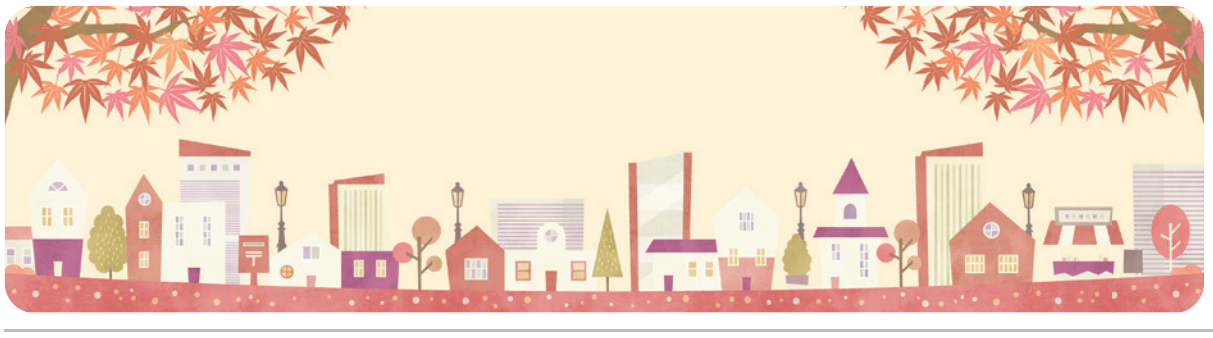
○佐藤つかさ議員に対する問責決議

東京都北区議会佐藤つかさ議員は、本年５月、北区が発注する「特別養護老人ホーム桐ケ丘やまぶき荘大規模改修工事」の工事現場の視察を申し入れたところ、安全管理上の理由から視察を受け入れることはできない旨の説明を受けた。しかし本年８月、佐藤つかさ議員は、北区及び請負事業者の許可を得ることなく、現場及び工事中の建物に立ち入り写真を撮影、その画像をＳＮＳ上に投稿し、不特定の者が閲覧可能な状態とした。

工事現場への立ち入りを制限することは、工事の円滑な遂行及び安全確保等の観点から一般的な措置であり、いかなる理由であれ、自らの判断により無断で現場に立ち入る行為は看過できるものではない。また、議員による情報発信には十分な配慮を要するが、立ち入りが禁止されている場所で撮影した写真を不特定の者が閲覧するＳＮＳに投稿したことは、現場の保安・安全管理に影響を及ぼすおそれがあるなど、極めて軽率な行為である。

本件については、工事の請負事業者から北区議会へ厳正な対応を求める申し入れがあり、北区長からも厳格な対応を求める要請がなされている。佐藤つかさ議員は、ＳＮＳへの投稿を削除し請負事業者へ謝罪の意を表してはいるものの、工事現場に無断で立ち入り写真を撮影し、更にこれを完全に消去することが難しいＳＮＳ上に投稿したことは、法令等を遵守すべき区議会議員としてあるまじき行為である。

よって、本区議会として、佐藤つかさ議員の一連の行為を区議会議員としての自覚と責任を著しく欠く極めて遺憾なものとし、同議員を厳重に問責し猛省を求めるものである。



◎「佐藤つかさ議員に対する問責決議」の議長コメントを北区議会公式ウェブサイトに掲載しております。

https://www.city.kita.lg.jp/assembly/members/1015075/1025820.html#anchor1

議会の動き

7月

10日　議会情報PR委員会
・きたくぎかいだより第308号についてほか

16日　議会運営委員会
・本会議の運営についてほか

全員協議会
・議案の説明及び質疑

本会議
・議案の議決ほか

文教委員会（本会議休憩中）
・所管事務調査
東京都北区立学校設置条例の一部を改正する条例ほか

企画総務委員会（本会議休憩中）
・議案審査
東京都北区立学校設置条例の一部を改正する条例ほか

議会運営委員会（本会議休憩中）
・「第69号議案東京都北区立学校設置条例の一部を改正する条例」に対する付帯決議の取り扱いについてほか

8月

24日　企画総務委員会
・令和８年度都区財政調整（北区算定額）について

28日　議会運営委員会
・本会議の運営についてほか

9月

1日　全員協議会
・議案等の説明及び質疑

7日　議会運営委員会
・本会議の撮影・録音の許可について

8日　本会議
・代表質問ほか

9日　本会議
・個人質問、議案等の付託ほか

11日　区民生活委員会
・請願・陳情審査
中東情勢に伴う建設資材の供給不安や価格高騰等への対策強化を求める意見書提出に関する陳情ほか
・議案審査
東京都北区赤羽会館の指定管理者の指定についてほか
・所管事務調査
東京都北区立体育施設条例の一部を改正する条例ほか
・委員の派遣について

文教委員会
・所管事務調査
東京都北区立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例ほか
・委員の派遣について

14日　健康福祉委員会
・請願・陳情審査
排泄に課題を抱える障害者の日常生活用具へ、排泄予測支援機器の追加認定を求める陳情ほか
・議案審査
東京都北区志茂老人いこいの家の指定管理者の指定についてほか
・所管事務調査
東京都北区若者ミライ応援基金条例ほか
・委員の派遣について

建設委員会
・所管事務調査
東京都北区景観づくり条例の一部を改正する条例ほか
・委員の派遣について

15日　企画総務委員会
・請願・陳情審査
特別養護老人ホーム桐ケ丘やまぶき荘改修工事の検証に関する陳情ほか
・議案審査
東京都北区若者ミライ応援基金条例ほか
・委員の派遣について

16日　議会運営委員会
・本会議の運営について

本会議
・議案の議決

議会運営委員会
・請願・陳情審査
東京都北区議会議員の政治倫理に関する条例の区民の審査請求権に関する陳情

17日　決算特別委員会
・総括質疑、議会費

24日　決算特別委員会
・総務費、公債費、諸支出金、予備費

25日　議会運営委員会
・追加予定議案の取り扱い及び全員協議会の開会について

決算特別委員会
・福祉費、衛生費

28日　決算特別委員会
・環境費、産業経済費、土木費

29日　決算特別委員会
・教育費

30日　議会運営委員会
・本会議の運営についてほか

学校施設等火災事故対策特別委員会

本会議
・令和７年度東京都北区一般会計歳入歳出決算の訂正について

10月

1日　決算特別委員会
・一般会計歳入、各特別会計歳入歳出

2日　決算特別委員会
・補足質疑、討論、採決

6日　議会運営委員会
・本会議の運営についてほか

7日　全員協議会
・追加議案の説明及び質疑

本会議
・議案の議決ほか

企画総務委員会（本会議休憩中）
・議案審査
仮称桐ケ丘区民センター新築電気設備工事請負契約ほか

議会運営委員会（本会議休憩中）
・本会議の運営についてほか

議会運営委員会（本会議休憩中）
・本会議の運営についてほか

議会運営委員会（本会議等終了後）
・第４回定例会の日程についてほか

15日　新庁舎建設・王子まちづくり特別委員会
・請願・陳情審査
新庁舎基本設計における財政規律の確保とコストに特化した住民参加手続きの実施を求める陳情
・説明会のまとめ

次回定例会のお知らせ

令和８年第４回定例会は、11月24日（火）から12月４日（金）までの11日間の会期の予定で開かれます。いずれの会議も午前10時開会予定です。

11月25日（水）の本会議は都合により開会されない場合があります。開会の有無については、区議会事務局までお問い合わせください。

11月	24日（火）	本会議
	25日（水）	本会議
	27日（金）	区民生活委員会 文教委員会
	30日（月）	健康福祉委員会 建設委員会
12月	１日（火）	企画総務委員会
	３日（木）	議会運営委員会
	４日（金）	本会議

※11月17日（火）までに提出された請願・陳情は、原則として第４回定例会で審査します。

○議会放映をJ:COM東京北（ケーブルテレビ）でぜひご覧ください

第４回定例会本会議の代表質問の様子をJ:COMチャンネルで録画放映します。

放映予定日時
12月６日（日）
午後４時から【６時間程度】
12月７日（月）～12日（土）
午後８時から【１時間程度】(再放送)

11月24日(火)、25日(水)の本会議一般質問は、北区議会公式ウェブサイトでライブ中継いたします。

きたくぎかいだより No.309
編集：議会情報 PR 委員会
発行：東京都北区議会
〒114-8508　北区王子本町 1-15-22
☎：03(3908)9948
FAX：03(3908)0600

区議会の活動は、北区議会公式ウェブサイトでもご覧になれます。
北区議会　検索